

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	25128
課題名	KRAS G12C 変異陽性非小細胞肺がんにおける分子標的治療による腫瘍免疫微小環境変化の解析
研究期間	西暦 2025年12月4日（実施許可日）～2030年3月31日
研究の対象	旭川医科大学病院において、2010年1月1日から2025年10月30日までにKRAS G12C 変異陽性の非小細胞肺がんと診断された方のうち、診療記録や検査で得られた病理組織が残っている患者さんを対象とします。
利用する試料・情報の種類	<p>■診療情報（詳細：年齢、性別、診断名、併存・既往疾患、内服薬（免疫チェックポイント阻害剤開始時点）、治療内容および治療効果（全生存期間、無増悪生存期間、免疫チェックポイント阻害薬の奏功率や期間など）、放射線画像、病理学的組織診断情報、その他の遺伝子変異解析情報）</p> <p>■手術、検査等で採取した組織</p> <p>□血液</p> <p>□その他（ ）</p>
利用予定日	開始日：実施許可日から1ヵ月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
外部への試料・情報提供	<p>■自施設のみで利用</p> <p>□多施設共同研究グループ内（ ）</p> <p>□その他</p>
研究組織	<p>■研究機関名： 国立大学法人 旭川医科大学</p> <p>○研究責任者 内科学講座（呼吸器・脳神経内科学分野） 准教授 佐々木 高明</p> <p>○研究分担者 内科学講座（呼吸器・脳神経内科学分野） 客員講師 吉田 遼平 内科学講座（呼吸器・脳神経内科学分野） 特任助教 木田 涼太郎 内科学講座（呼吸器・脳神経内科学分野） 大学院生 梁田 啓 内科学講座（呼吸器・脳神経内科学分野） 医員 似内 貴一</p>
研究の意義、目的	<p>KRAS G12C 変異をもつ非小細胞肺がんに対しては、新しい分子標的薬が開発され、治療効果が期待されています。</p> <p>しかし、すべての患者さんに同じ効果が得られるわけではなく、治療が効きにくい場合もあります。</p> <p>この研究では、過去に治療を受けた患者さんの病理検体を用いて、分子標的薬治療によって腫瘍の免疫環境がどのように変化するかを調べます。</p>

	これにより、治療効果を予測できる指標（バイオマーカー）を見つけ、将来の個別化治療につなげることを目的としています。
研究の方法	既に診断や治療の際に採取された検体（余った未染スライド）を使用します。新たに検査や採血を行うことはありません。病理検体に含まれる免疫関連分子（PD-L1、CD8、MHC Class I など）を免疫染色で評価し、治療効果や経過と比較して解析します。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧する事が出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>旭川医科大学 呼吸器内科 〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 事務担当 西本千穂美 電話番号 0166-69-3290</p> <p>研究責任者：</p> <p>旭川医科大学 内科学講座（呼吸器・脳神経内科学分野） 佐々木 高明 准教授</p>